

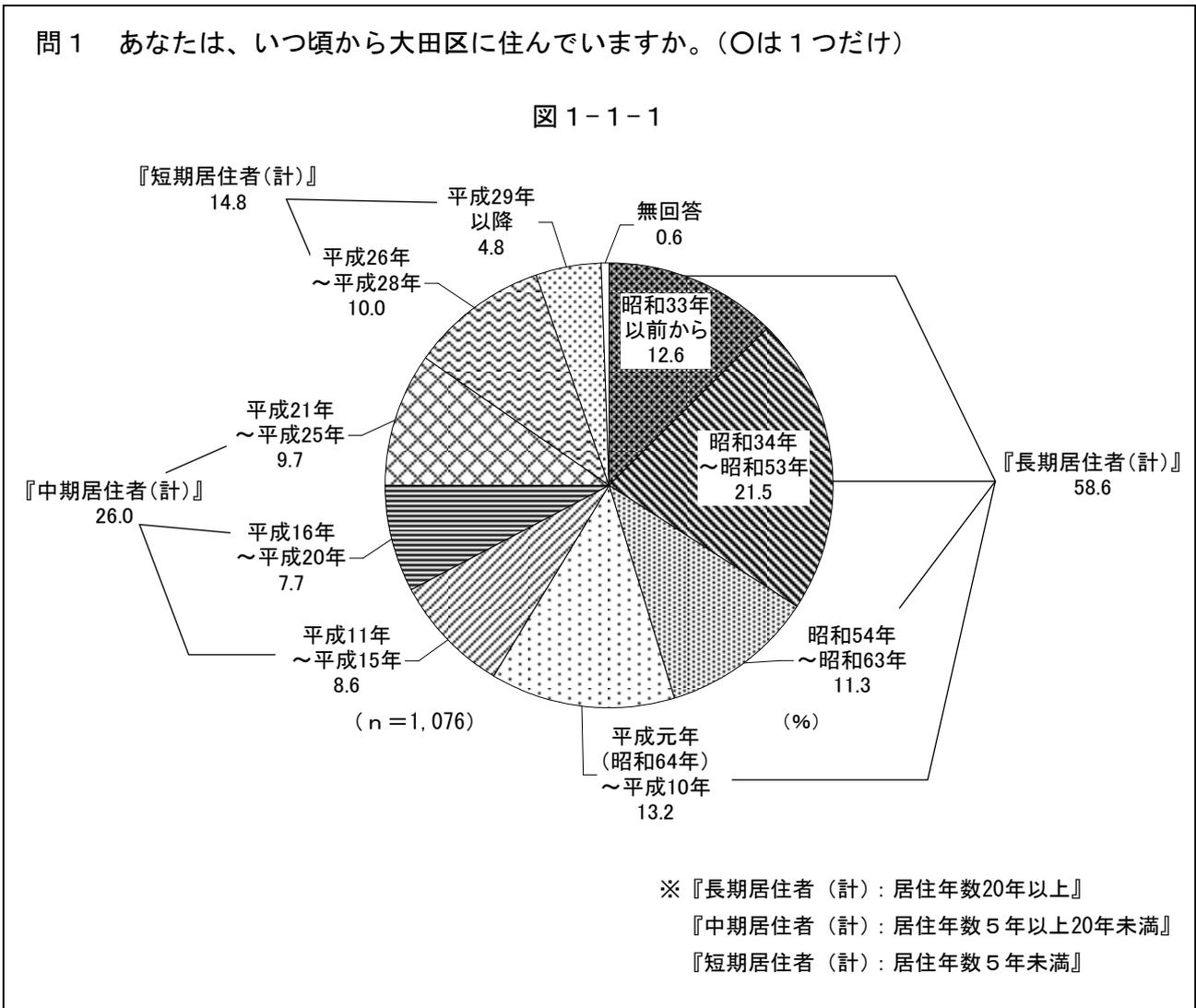
### Ⅲ 調査結果の分析

### Ⅲ 調査結果の分析

#### 1. 定住性

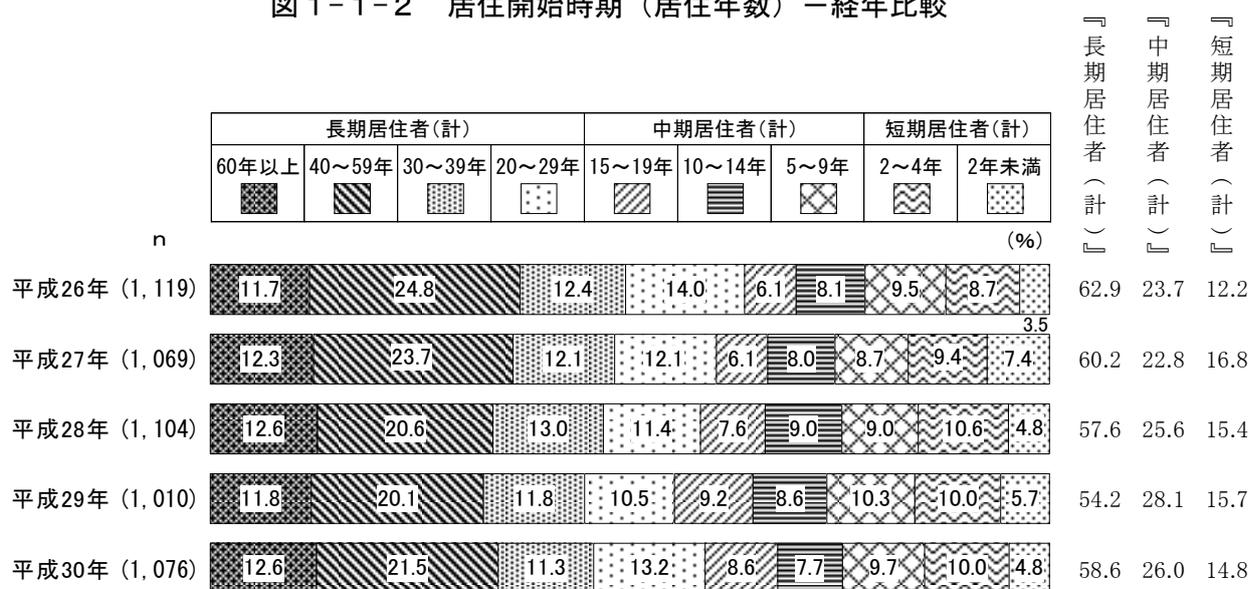
##### (1) 居住開始時期

◇「平成10年以前から住んでいる方」を表す『長期居住者（計）』は6割近く



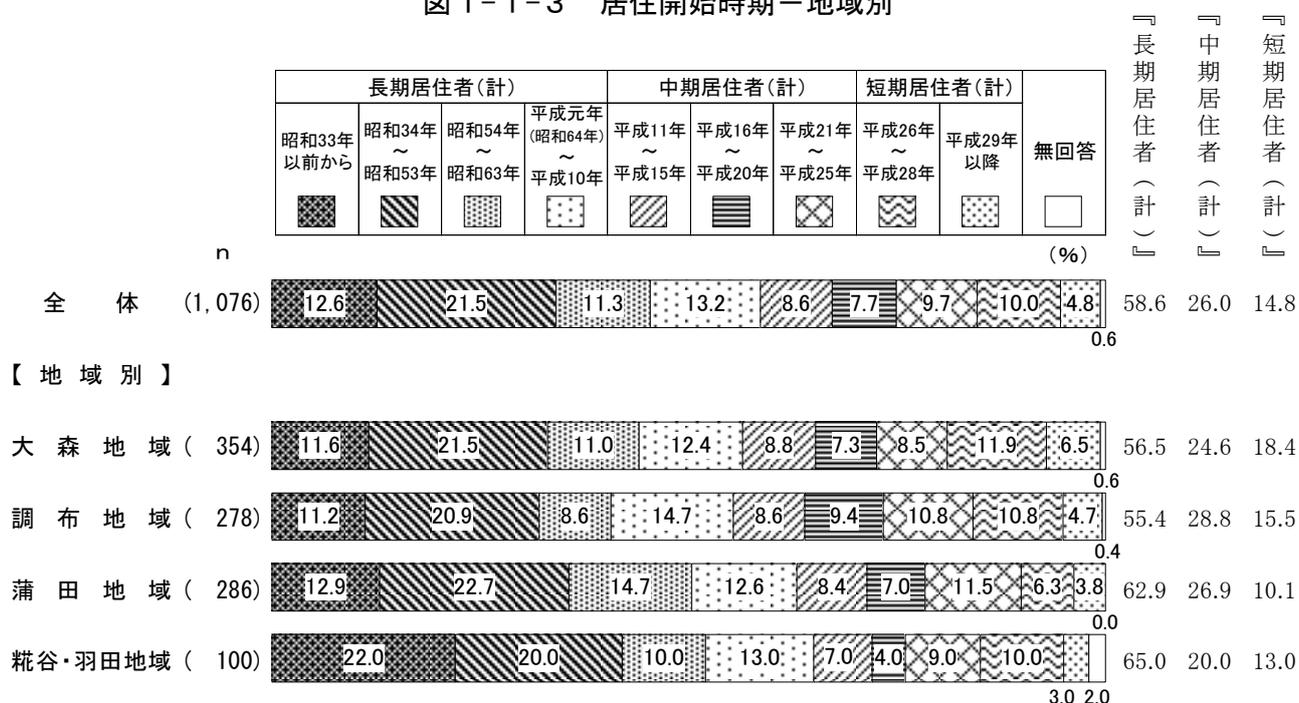
居住開始時期を聞いたところ、「昭和34年～昭和53年」(21.5%)が2割を超えて最も高く、これに「昭和33年以前から」(12.6%)、「昭和54年～昭和63年」(11.3%)、「平成元年(昭和64年)～平成10年」(13.2%)を合わせた『長期居住者(計)(居住年数20年以上)』(58.6%)は6割近くとなっている。「平成11年～平成15年」(8.6%)、「平成16年～平成20年」(7.7%)、「平成21年～平成25年」(9.7%)を合わせた『中期居住者(計)(居住年数5年以上20年未満)』(26.0%)は2割半ばで、「平成26年～平成28年」(10.0%)と「平成29年以降」(4.8%)を合わせた『短期居住者(計)(居住年数5年未満)』(14.8%)は1割半ばとなっている。(図1-1-1)

図 1-1-2 居住開始時期（居住年数）一経年比較



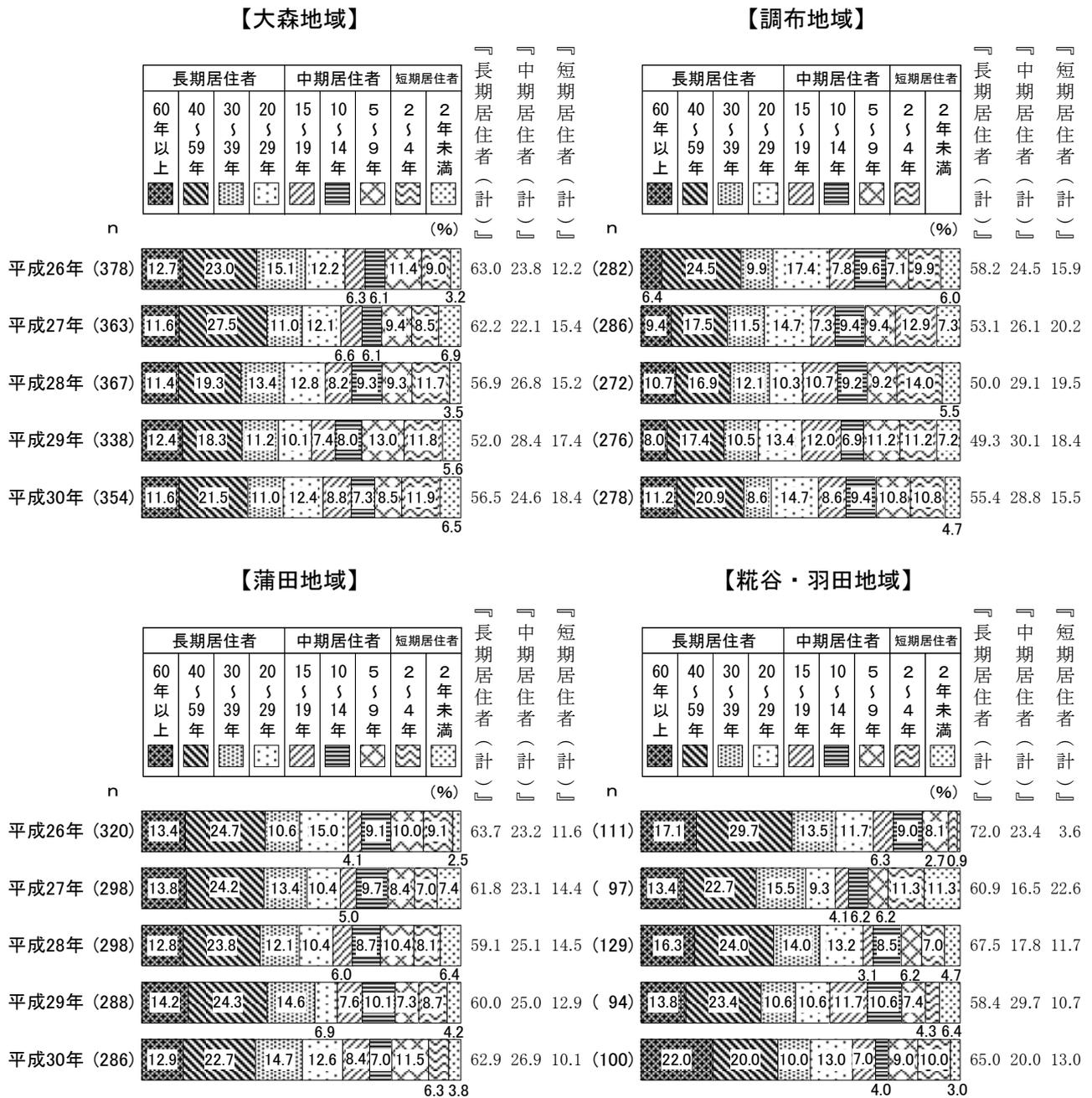
大田区への居住開始時期を居住年数に換算して経年比較をした。『長期居住者(計)』は平成26年以降減少傾向にあったが、今回は増加に転じ、前回より4.4ポイント増加している。(図1-1-2)

図 1-1-3 居住開始時期一地域別



地域別でみると、『長期居住者(計)』は糀谷・羽田地域(65.0%)で6割半ばと高くなっている。『中期居住者(計)』は調布地域(28.8%)と蒲田地域(26.9%)で3割近くと高くなっている。『短期居住者(計)』は大森地域(18.4%)で2割近くとなっている。(図1-1-3)

図 1-1-4 居住開始時期（居住年数）—地域別（経年比較）



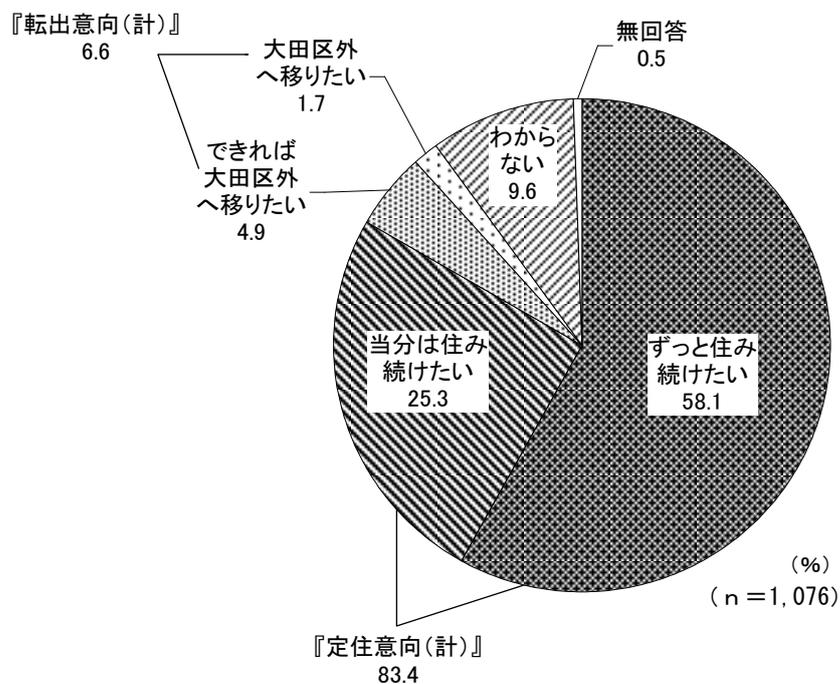
地域別で大田区への居住開始時期を居住年数に換算した経年比較をみると、『長期居住者（計）』は全ての地域で前回より増加し、糀谷・羽田地域で6.6ポイント、調布地域で6.1ポイント、大森地域で4.5ポイント、蒲田地域で2.9ポイント、それぞれ増加している。（図 1-1-4）

## (2) 定住意向

◇「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた『定住意向(計)』は8割を超える

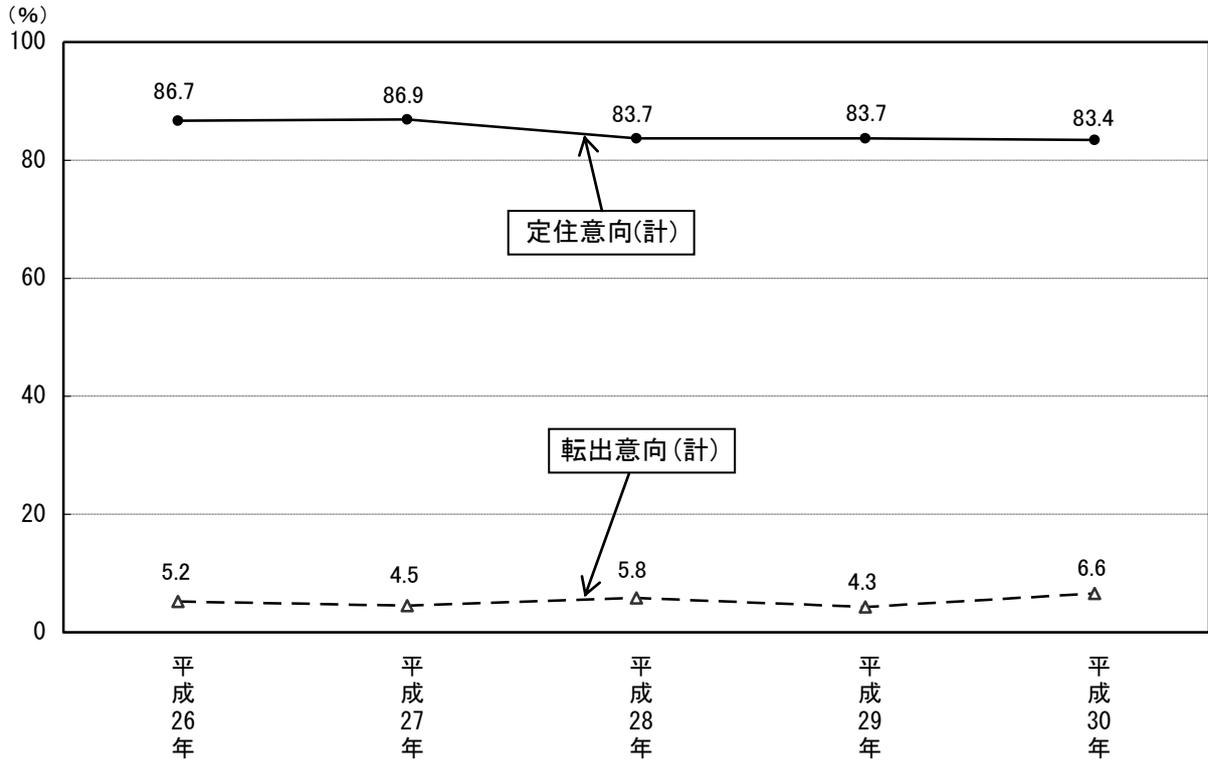
問2 あなたは、これからも大田区に住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

図1-2-1



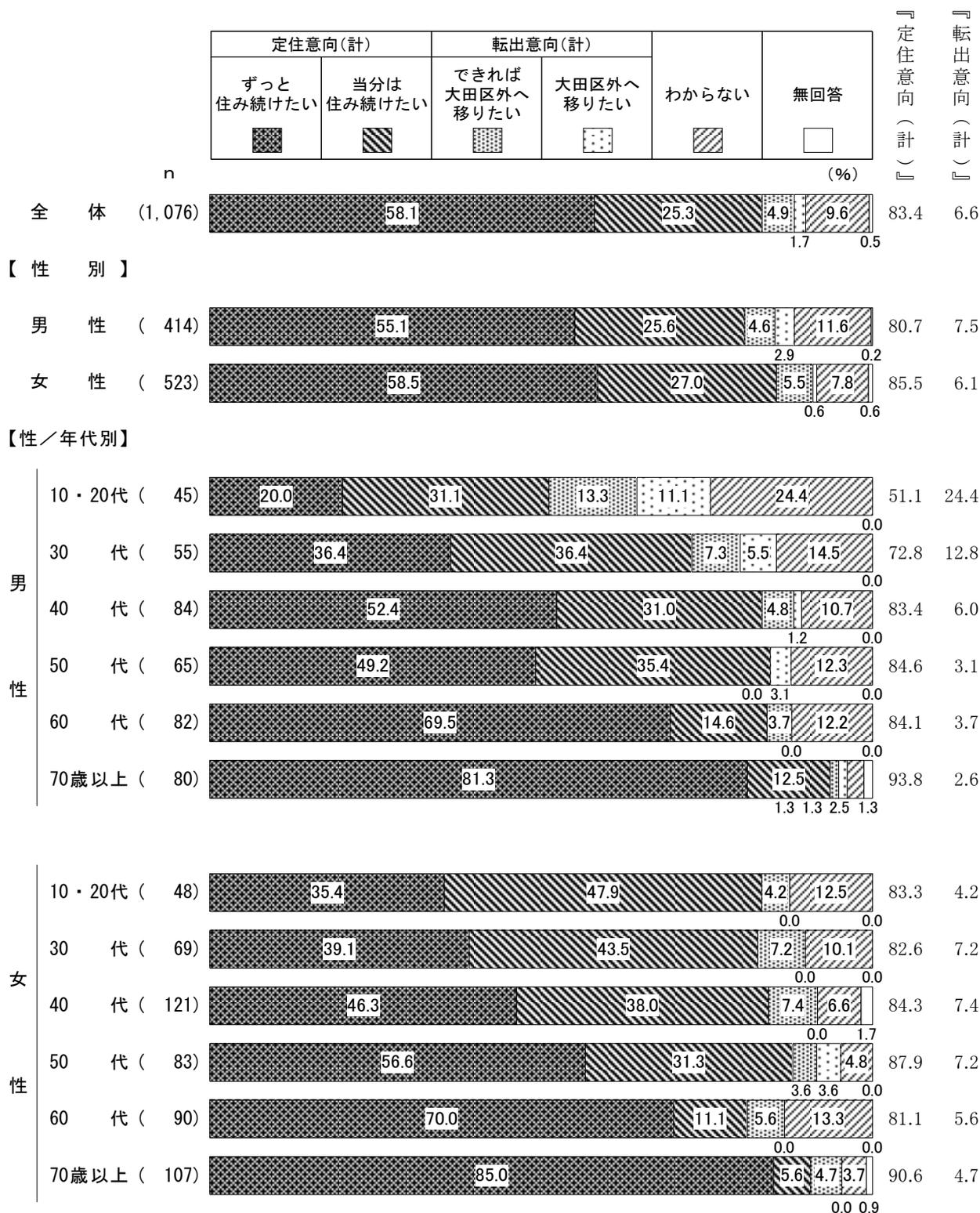
定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(58.1%)が6割近くで最も高く、これに「当分は住み続けたい」(25.3%)を合わせた『定住意向(計)』(83.4%)は8割を超えている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」(4.9%)と「大田区外へ移りたい」(1.7%)を合わせた『転出意向(計)』(6.6%)は1割未満となっている。(図1-2-1)

図 1-2-2 定住意向一経年比較



経年比較をみると、『定住意向 (計)』は平成26年以降 8 割台で推移している。(図 1-2-2)

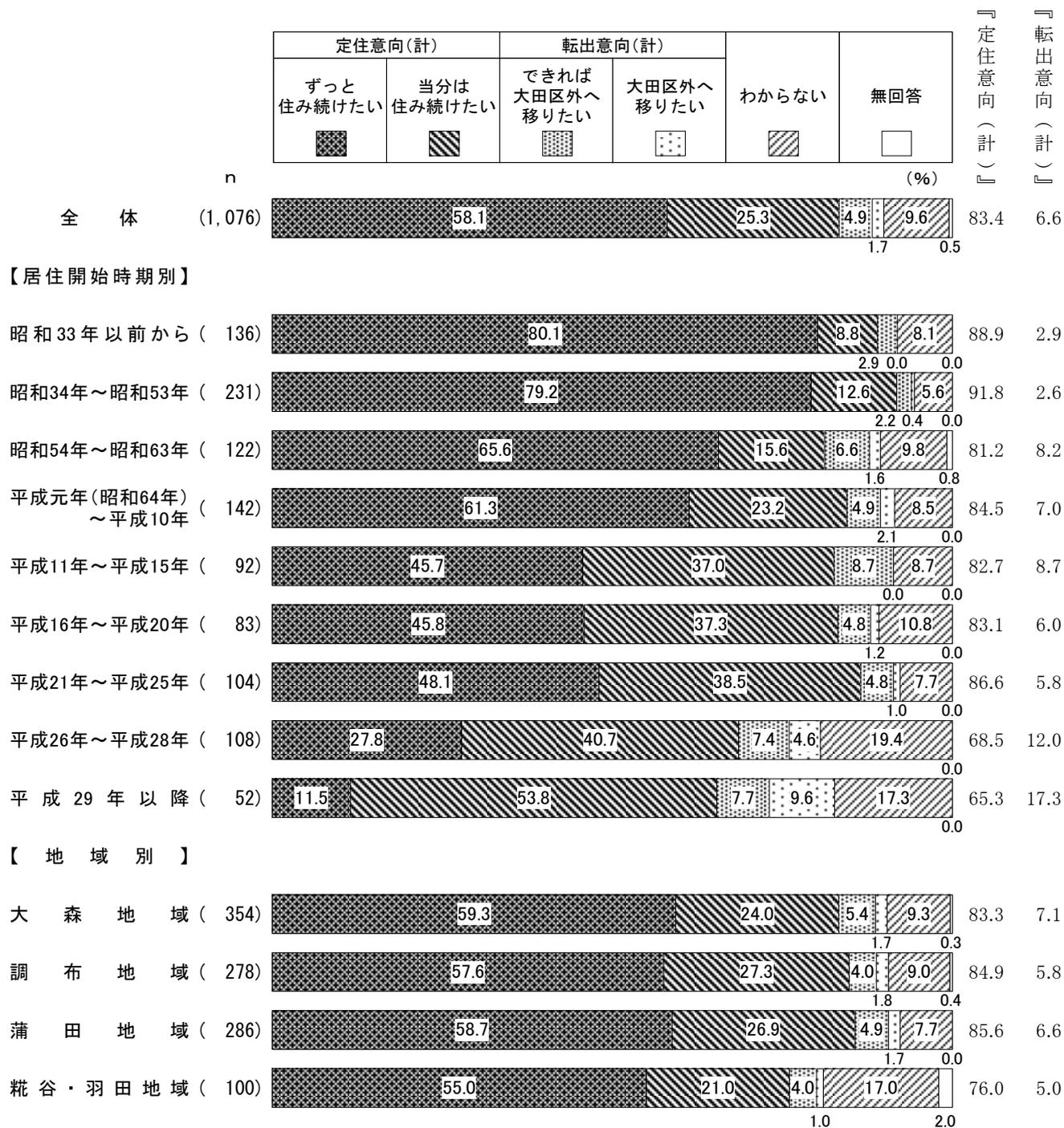
図 1-2-3 定住意向一性／年代別



性別でみると、『定住意向(計)』は女性(85.5%)が男性(80.7%)より4.8ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「ずっと住み続けたい」は男女ともにおおむね年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上(85.0%)と男性70歳以上(81.3%)で8割台となっている。『定住意向(計)』は男性70歳以上(93.8%)と女性70歳以上(90.6%)で9割台と高くなっている。一方、『転出意向(計)』は男性10・20代(24.4%)で2割半ばと高くなっている。(図1-2-3)

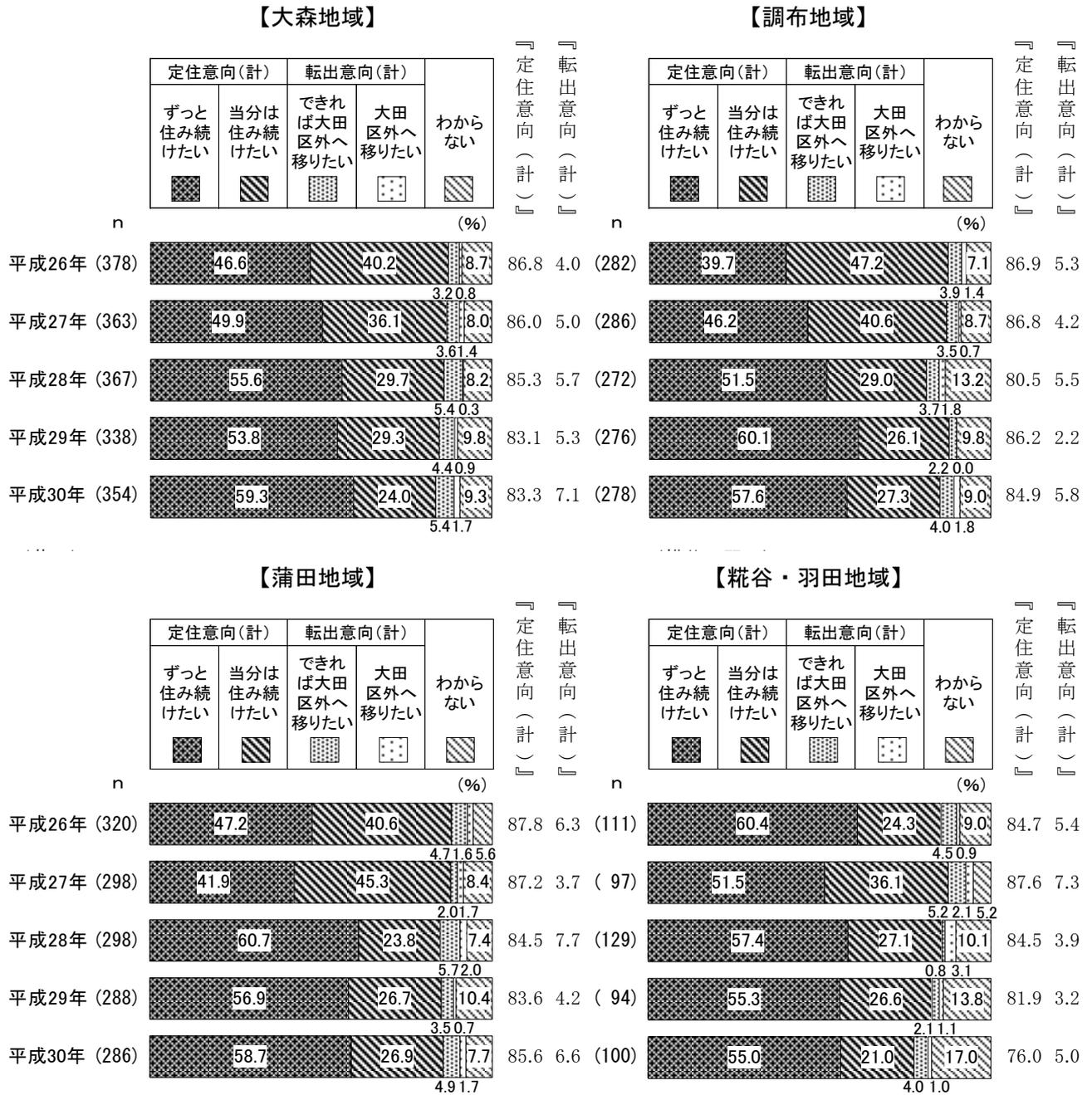
図 1-2-4 定住意向—居住開始時期別、地域別



居住開始時期別で見ると、「ずっと住み続けたい」はおおむね居住年数が長くなるほど割合が高く、「昭和33年以前から（居住年数60年以上）」（80.1%）で8割となっている。『定住意向（計）』は「昭和34年～昭和53年（居住年数40年以上60年未満）」（91.8%）で9割を超えて高くなっている。一方、『転出意向（計）』は「平成29年以降（居住年数2年未満）」（17.3%）で2割近くとなっている。

地域別で見ると、『定住意向（計）』は糞谷・羽田地域（76.0%）を除く全ての地域で8割台と高くなっている。（図1-2-4）

図 1-2-5 定住意向—地域別（経年比較）



地域別で経年比較をみると、『定住意向(計)』は糀谷・羽田地域で平成27年以降減少傾向にあり、前回より5.9ポイント減少している。(図1-2-5)

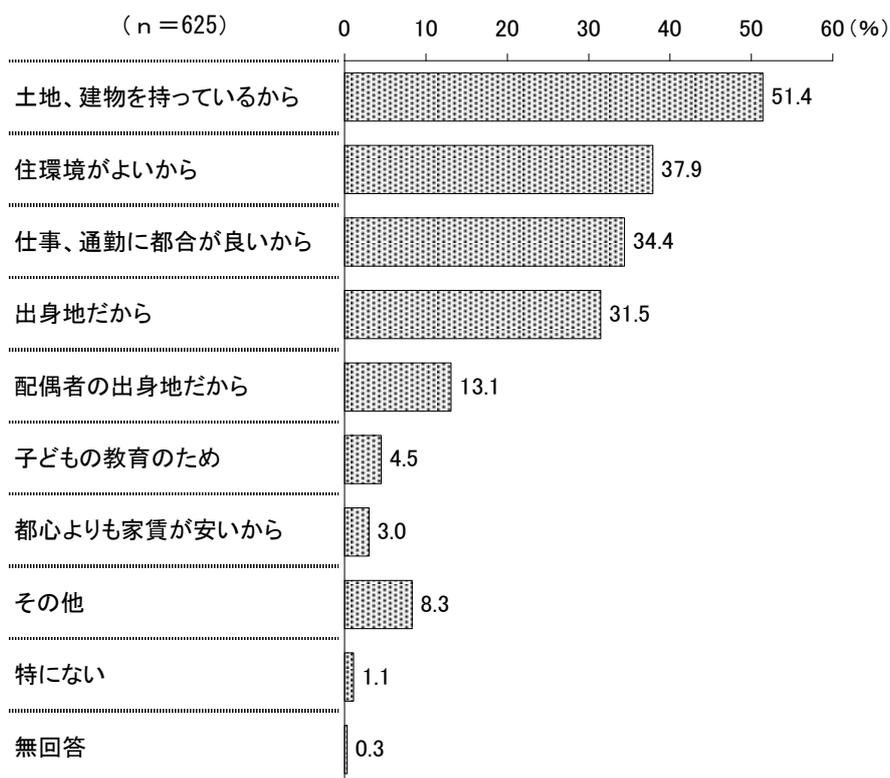
### (3) ずっと住みたい理由

◇「土地、建物を持っているから」が5割を超える

(問2で、「ずっと住みたい」と回答した方に)

問2-1 「ずっと住みたい」理由は何ですか。(〇はいくつでも)

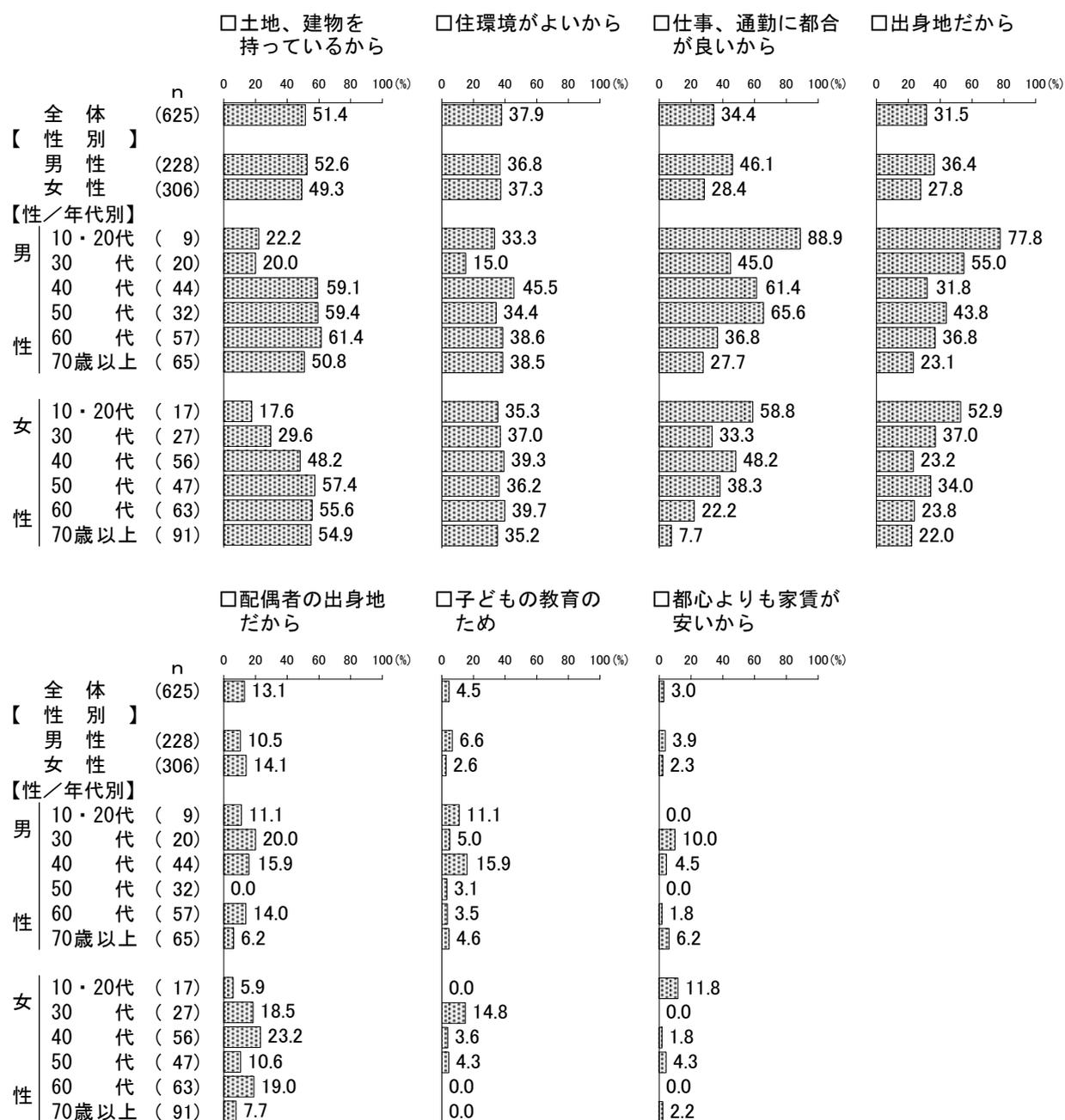
図1-3-1



これからも大田区に「ずっと住みたい」と答えた人(625人)に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」(51.4%)が5割を超えて最も高く、次いで「住環境がよいから」(37.9%)、「仕事、通勤に都合が良いから」(34.4%)、「出身地だから」(31.5%)、「配偶者の出身地だから」(13.1%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「住み慣れている」、「交通の便が良い」、「友人が多い」、「家族が近くに住んでいる」などがあげられている。(図1-3-1)

図 1-3-2 ずっと住み続けたい理由－性／年代別

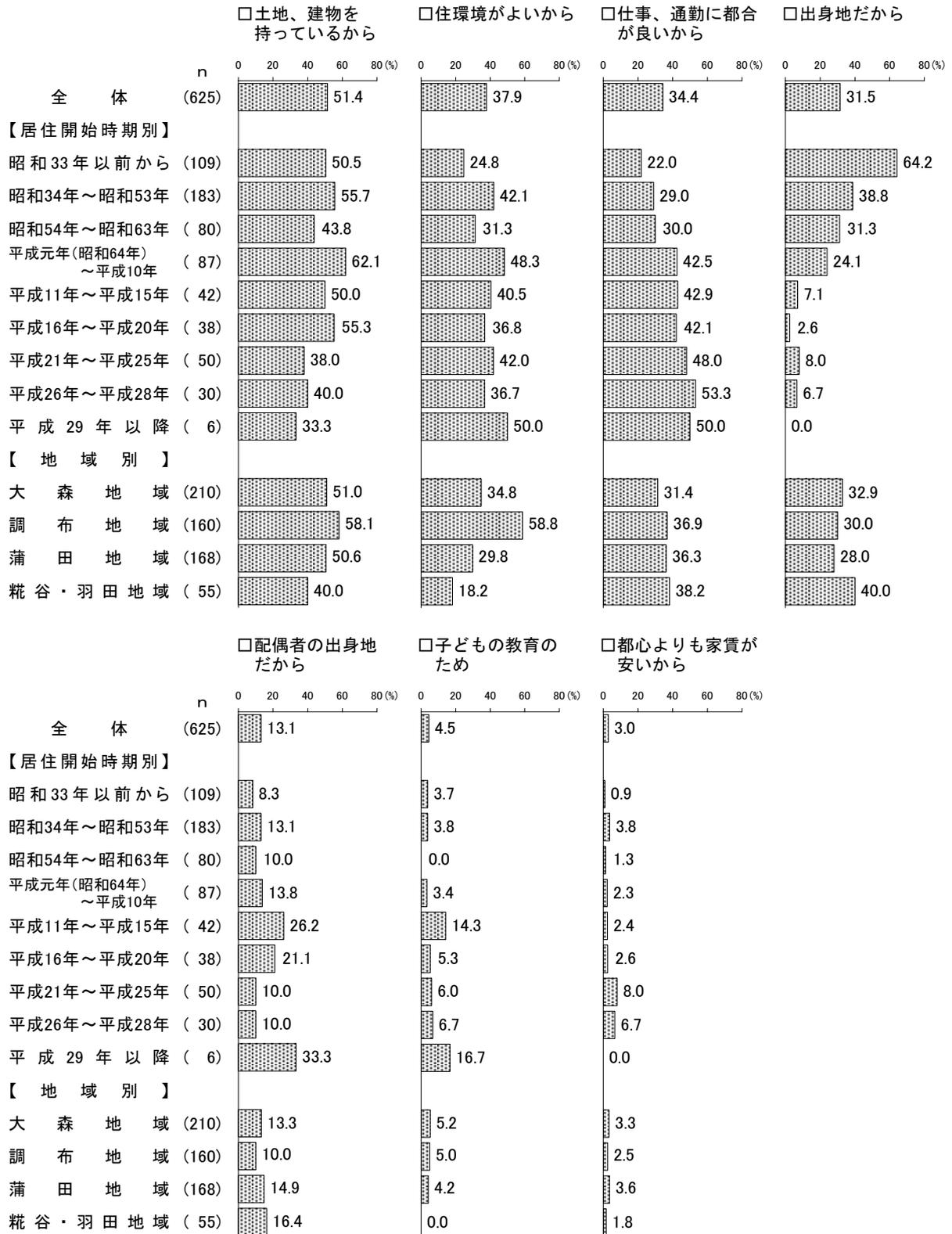


性別で見ると、「仕事、通勤に都合が良いから」は男性（46.1%）が女性（28.4%）より17.7ポイント、「出身地だから」は男性（36.4%）が女性（27.8%）より8.6ポイント高くなっている。一方、「配偶者の出身地だから」は女性（14.1%）が男性（10.5%）より3.6ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「土地、建物を持っているから」は男性60代（61.4%）で6割を超えて高くなっている。「住環境がよいから」は男性40代（45.5%）で4割半ばと高くなっている。

(図 1-3-2)

図1-3-3 ずっと住み続けたい理由—居住開始時期別、地域別



居住開始時期別でみると、「土地、建物を持っているから」は“平成元年（昭和64年）～平成10年（居住年数20年以上30年未満）”（62.1%）で6割を超えて高くなっている。「出身地だから」は“昭和33年以前から（居住年数60年以上）”（64.2%）で6割半ばと高くなっている。

地域別でみると、「土地、建物を持っているから」は調布地域（58.1%）で6割近くと高くなっている。「住環境がよいから」は調布地域（58.8%）で6割近くと高くなっている。（図1-3-3）

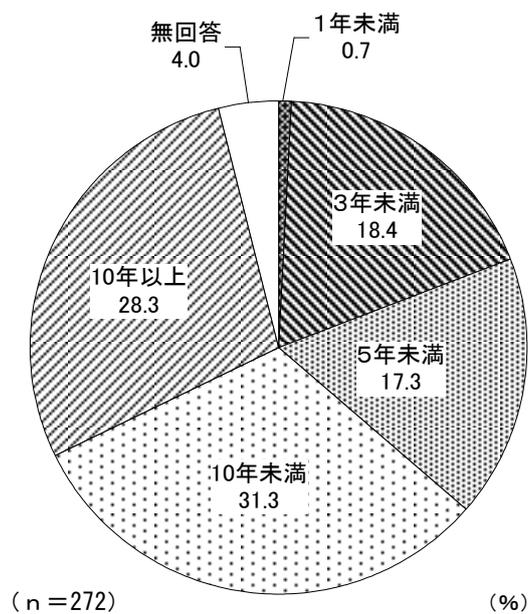
#### (4) 当分は住み続けたい期間

◇「10年以上」が3割近く

(問2で、「当分は住み続けたい」と回答した方に)

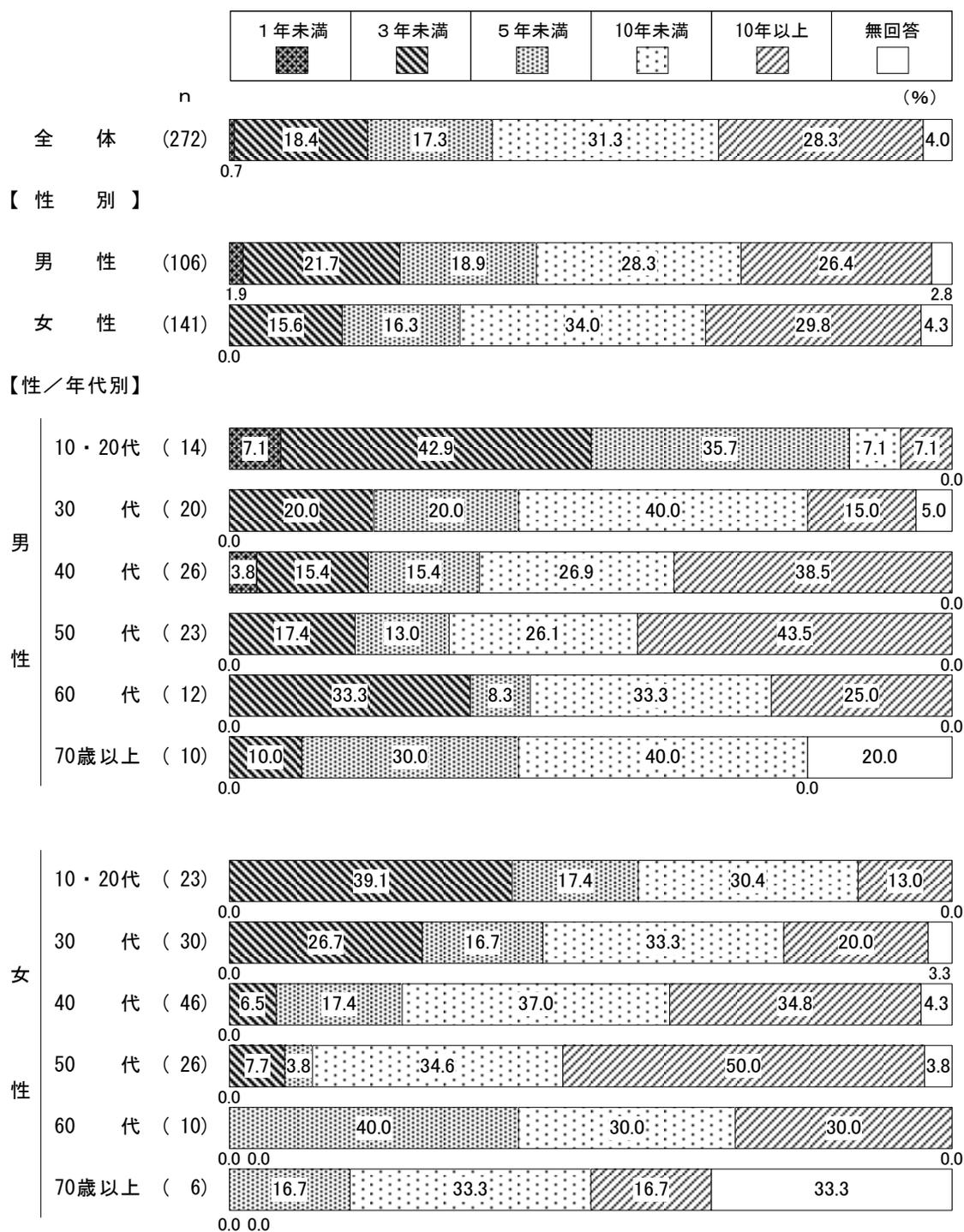
問2-2 「当分は住み続けたい」とはどのくらいの期間で理由は何ですか。(○は1つだけ)

図1-4-1



大田区に「当分は住み続けたい」と答えた人(272人)に、それはどのくらいの期間か聞いたところ、「10年未満」(31.3%)が3割を超えて最も高く、次いで「10年以上」(28.3%)、「3年未満」(18.4%)、「5年未満」(17.3%)などの順になっている。(図1-4-1)

図 1-4-2 当分は住み続けたい期間－性／年代別



性別でみると、「3年未満」は男性 (21.7%) が女性 (15.6%) より6.1ポイント高くなっている。一方、「10年未満」は女性 (34.0%) が男性 (28.3%) より5.7ポイント高くなっている。

(図 1-4-2)

また、「当分は住み続けたい」と答えた理由については、197人から203件の回答があった。住み続けたい期間別に分類して整理した結果は以下のとおりである。

①「1年未満」と答えた理由（計2件）

- 家賃が安い…………… 1件
- 会社の寮から出ていくため…………… 1

②「3年未満」と答えた理由（計43件）

- 転居の可能性があるから…………… 8件
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 7
- 親や子どもが住んでいる場所、または出身地に戻る予定があるから…………… 7
- 転勤・転職等の予定があるから…………… 7
- 結婚する、結婚する予定があるから…………… 4
- 暮らしやすいから…………… 3
- 家賃が高いから…………… 2
- その他…………… 5

③「5年未満」と答えた理由（計34件）

- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 4件
- 親や子どもが住んでいる場所、または出身地に戻る予定があるから…………… 3
- 子どもの環境を変えたくないから…………… 3
- 他の場所に住んでみたいから…………… 3
- 住みやすいから…………… 3
- 転居の可能性があるから…………… 3
- 転勤の予定があるから…………… 2
- 子育て環境に不安があるから…………… 2
- 家を購入したい・購入する予定…………… 2
- 交通の便が良いから…………… 2
- その他…………… 7

④ 「10年未満」と答えた理由（計66件）

- 親や子どもが住んでいる場所、または出身地に戻る予定があるから…………… 10件
- 老後に転居する可能性があるから…………… 8
- 子どもの教育上の理由から…………… 7
- 交通の便が良いから…………… 5
- 土地、建物を持っているから…………… 5
- 結婚したら移転する可能性があるから…………… 4
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 3
- 転職する可能性があるから…………… 3
- 家族・友人がいるから…………… 3
- 将来のことはわからないから…………… 3
- 他の場所に住んでみたいから…………… 2
- 生活に便利だから…………… 2
- 引っ越す予定があるから…………… 2
- その他…………… 9

⑤ 「10年以上」と答えた理由（計58件）

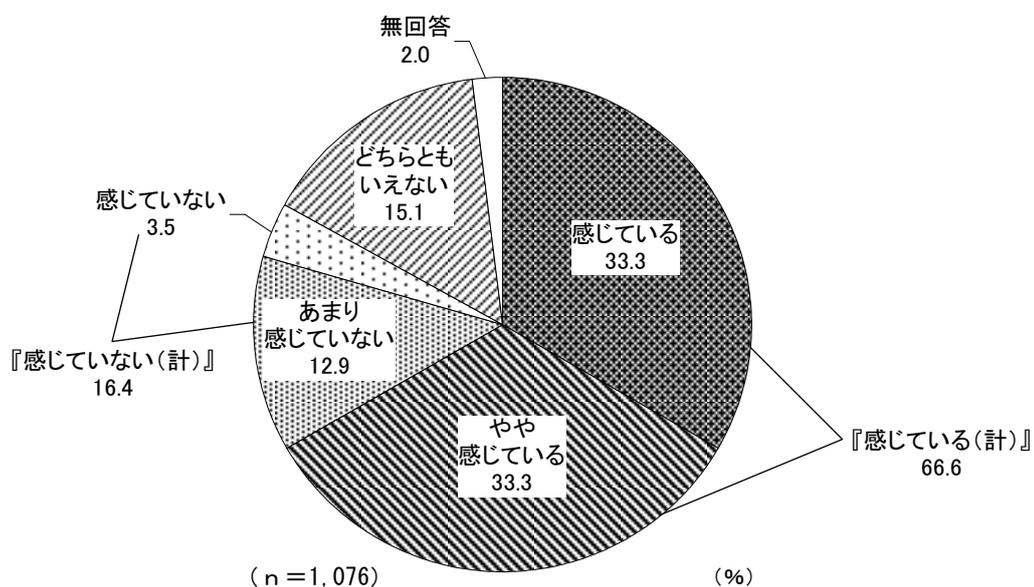
- 子育てのため、子どもが成人するまで…………… 12件
- 老後に転居する可能性があるから…………… 10
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 6
- 土地、建物を持っているから…………… 6
- 住みやすい・住み慣れているから…………… 4
- 親や子どもが住んでいる場所、または出身地に戻る予定があるから…………… 3
- 将来のことはわからないから・決めていないから…………… 3
- 現在の住まいに特に不満がないから、移転する理由が特にないから…………… 2
- その他…………… 12

### (5) 住んでいるまちが魅力的か

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は7割近く

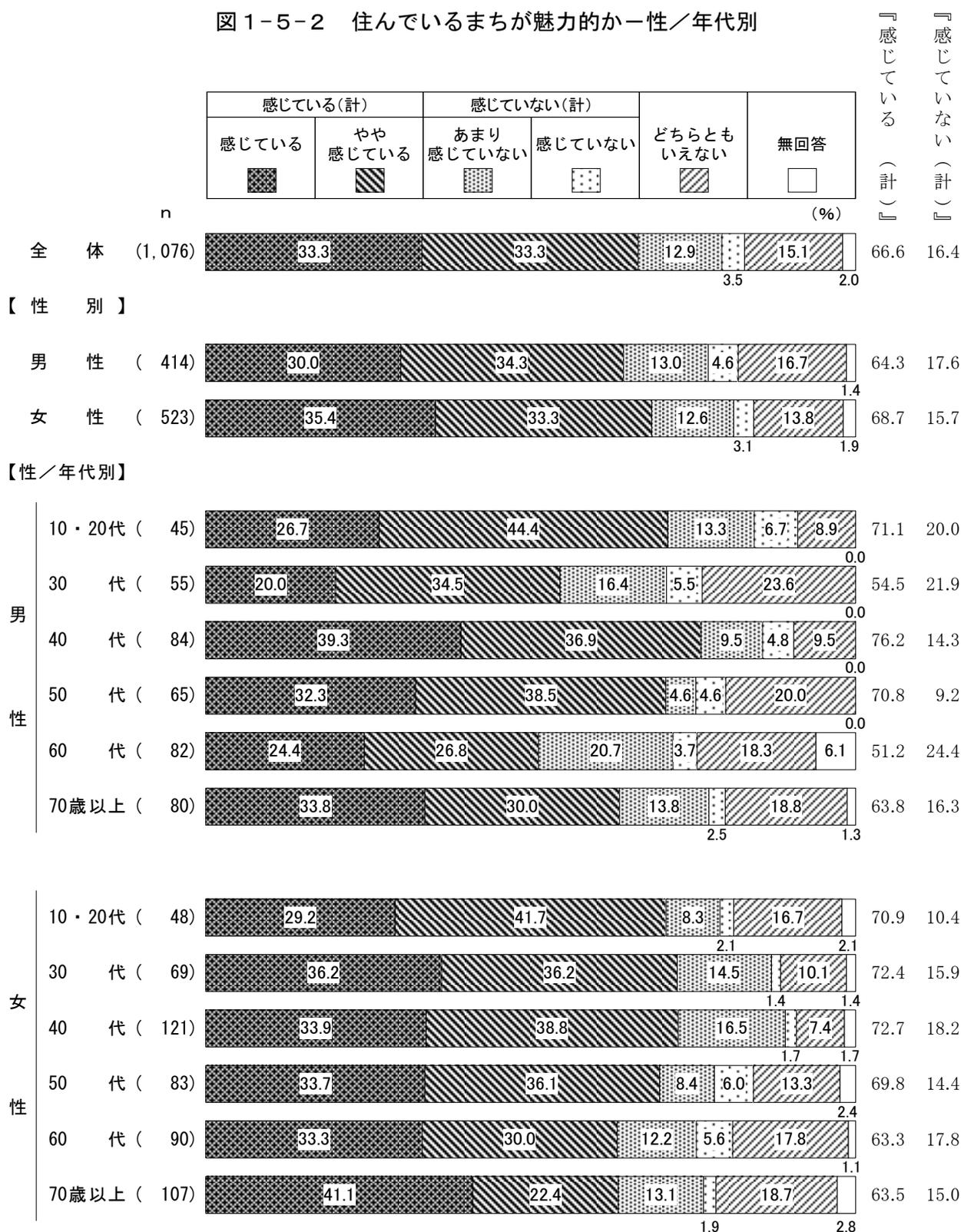
問3 あなたは、住んでいるまちが魅力的であると感じていますか。(○は1つだけ)

図1-5-1



住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「感じている」(33.3%)と「やや感じている」(33.3%)を合わせた『感じている(計)』(66.6%)は7割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(12.9%)と「感じていない」(3.5%)を合わせた『感じていない(計)』(16.4%)は1割半ばとなっている。(図1-5-1)

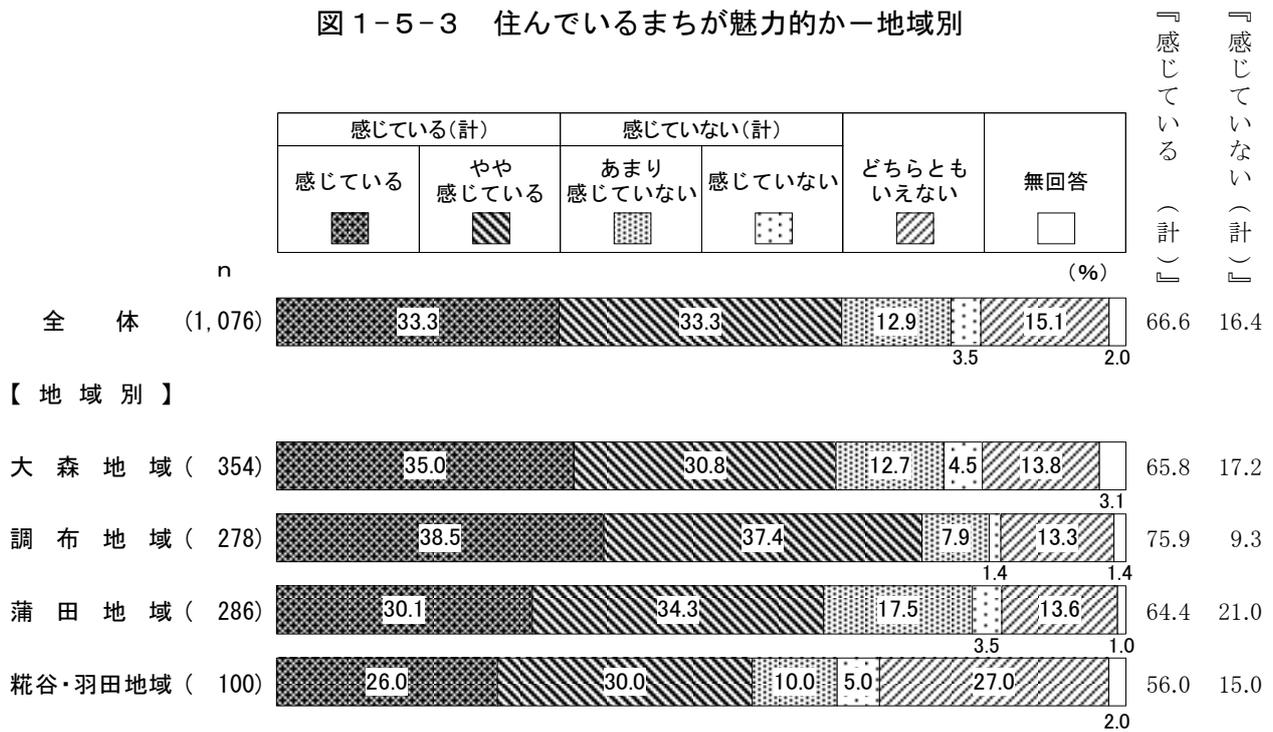
図 1-5-2 住んでいるまちが魅力的かー性／年代別



性別でみると、『感じている(計)』は女性(68.7%)が男性(64.3%)より4.4ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は男性40代(76.2%)で7割半ばと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は男性60代(24.4%)で2割半ばと高くなっている。(図1-5-2)

図 1-5-3 住んでいるまちが魅力的かー地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は調布地域(75.9%)で7割半ばと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は蒲田地域(21.0%)で2割を超えて高くなっている。(図1-5-3)